

平成31年度・令和元年度 学校自己評価表 米子松蔭高等学校

学校教育目標 「社会で真に役立つ実践的な人材の育成」	
① 自主自立の精神の涵養	責任と義務を尊重しつつ、自ら進んで目標に向かって努力する精神を養う。
② 人間性の陶冶	規律を守るとともに、人の苦しみや悲しみを正しく理解し、適切な行動のできる豊かで調和のとれた健全な人格の育成をめざす。
③ 勤労を尊重する精神の育成	勤労を尊重する精神を養い、社会に貢献しようとする意欲を育成する。
④ 進路指導の充実	生徒の興味・適性・能力を尊重し、適切な進路の決定ができるよう指導の充実を図る。
⑤ 学習指導の充実	わかりやすい授業を心がけ、生徒の適性に合った指導に努める。
⑥ 生活指導の充実	生活面の指導を大切に、正しい服装容儀、規律ある生活態度で生きる姿勢を育成する。
⑦ 部活動の充実	顧問と生徒が目標に向かって共に努力してゆく中で、協調性・責任感・忍耐力を養う。

本年度の重点目標
建学の精神に基づき、これからの社会が必要とする人材の育成に努める。広い視野と知見を持ち、多様な価値観の中から、主体的に新しいものを想像していく力の育成を重点目標とする。

評価について A 達成できた B 概ね達成できた C やや不十分な点あり D かなり改善の余地あり E 全く不十分 ( ) 評価せず または 評価できず

学年分掌	前年度末の状況	今年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (教務) 生徒による授業アンケートの実施や、相互授業見学など学習指導の充実に取り組んだ。ICTの積極的な活用により、魅力的でわかりやすい授業を展開できるように、引き続き取り組んでいきたい。</li> <li>○ (図書) 資料相談を丁寧に行い、豊富な資料提供に努めた。授業で利用しやすいコーナー作りや書架の配置の見直しを行った。生徒がほっとできるような空間をつくることを心掛け、引き続き取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導の充実をさらに図る。</li> <li>○ 授業時間の確保に努める。</li> <li>○ 朝読書企画の定着を図る。</li> <li>○ 授業支援、広報活動の充実を図る。</li> <li>○ 誰にも使いやすい、心がほっとするような環境づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タブレット端末を用い、ICTを効果的に生かした授業の促進を図る。生徒による授業アンケート、相互授業見学は継続して実施する。</li> <li>○ 月間・週間計画、日課の調整や変更を迅速に行う。</li> <li>○ 生徒の自発的な活動となるよう促す。</li> <li>○ 常に丁寧なレファレンスを心掛け、豊富な資料提供、授業支援につなげる。生徒とともに魅力的な図書館を広げることにより力をいれて取り組む。</li> <li>○ 必要な資料にアクセスしやすいよう案内・サインを一新する。担当職員は生徒・教職員がいつでも安心して利用できるよう、あたたかく丁寧な対応を常に心掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>A</li> <li>C</li> <li>B</li> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タブレット端末の活用機会が増えた。引き続き、授業におけるICTの効果的な活用について模索していきたい。授業アンケートを7月に実施した。授業見学も積極的に取り組むことができる。</li> <li>○ 特別活動やホームルーム活動を充実させつつ、授業時間の確保ができています。</li> <li>○ 状況を十分に把握できていない。有意義な時間となるよう工夫したい。</li> <li>○ レファレンスにおいては、生徒・教職員の求めているものについて丁寧に聞き取りを行い、迅速な資料提供につなげた。一方で生徒と行う広報活動については努力が必要であるため再検討し、取り組んでいきたい。</li> <li>○ 図書館の利用促進においても環境づくりは欠かせないことを実感し、日々工夫、改善を行った。生徒・教職員にあたたかく接すること、資料提供を諦めないことをいつも心にとめてサービスを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 12月に第2回授業アンケートを実施。相互授業見学も行われている。タブレット端末を活用する機会が徐々に増え、学習指導の充実が図られている。</li> <li>○ 3年生は日替り7限授業を実施。年度を通じ授業時間は確保された。</li> <li>○ 読書だけでなく、自学自習に取り組む姿が見られた。</li> <li>○ 生徒・教職員が求めている情報をともに考え、豊富な資料提供につなげた。様々な教科の授業にもかかわり、ワークシート等の提供やオリエンテーションを行った。広報については、部活動で生徒とテーマ展示をしたが回数が少なく不十分だった。継続的な取り組みとして回数を増やし取り組む必要がある。</li> <li>○ 授業に関する資料を集めてコーナーを書籍に作ったり、季節やイベントに関するテーマ展示を行い、生徒・教職員が様々なシーンで資料が利用できることを意識できるよう、工夫をした。あたたかく丁寧な対応を常に意識し、生徒・教職員に安心して利用してもらえるように心がけて資料提供を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT活用の機会をさらに増やし、充実した授業を展開する必要がある。</li> <li>○ 大型連休や、月曜日に祝日が多いことを考え、時間割の編成には工夫が必要である。</li> <li>○ 朝礼までの時間を有効活用する意識を定着させたい。</li> <li>○ 生徒・教職員向け効果的にオリエンテーションを行い、授業支援の一層の充実をはかる。図書館の資料と幅広いサービスについて生徒・教職員にしっかりと周知し、誰もが様々なシーンでいつでも利用できることを広報していく。</li> <li>○ レファレンスの多い「授業」に関する資料を積極的に増やし、蔵書構築をしていく。生徒の日々の学習を支える資料、生徒の進路を支援する資料を豊富にそろえ、学ぶ意欲を刺激し、自らの将来をデザインできるような空間をつくる。</li> </ul>
	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入試、渉外業務ともに準備にゆとりを持ち、さらに円滑な業務遂行につとめる。</li> <li>○ 専門部統合により、各活動に一体感を持った運営ができるよう、松萌会役員との連携強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 円滑で正確な入学試験事務の実施</li> <li>○ 学校と保護者との協力関係の構築</li> <li>○ 環境美化・環境保全に努める</li> <li>○ 避難訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出願から新入生説明会までのスケジュールを入試事務スタッフ全員が周知し、各自が責任をもって役割を果たす。</li> <li>○ 説明会資料、出願書類等、中学校や受験生に対してわかりやすい文章表記となるよう、昨年度問い合わせのあった箇所の表記を見直す。</li> <li>○ 松萌会役員とのより一層の連携強化を図る。</li> <li>○ 松萌会事業の周知の方法を工夫することで参加者を増やし、活発な活動を目指す。</li> <li>○ 清掃用具の管理と校舎内外の清掃の徹底。</li> <li>○ 破損箇所の速やかな修繕に努める。</li> <li>○ 火災・地震・津波を想定した訓練を実施する。生徒に迅速な避難行動を促し、災害から身を守る意識を身につけさせるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> <li>C</li> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入試業務が本格的に始まっているため評価できず。</li> <li>○ 今後松萌会の事業が本格化する中で、役員以外の参加者が増えるよう情報発信に努める。</li> <li>○ 清掃、修繕に不十分な箇所が見受けられた。清掃については全教職員で日々清掃に心がけるよう促す。</li> <li>○ 火災訓練では迅速な避難行動が見られた。地震訓練においてはよりすみやかな行動が取れるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入試事務スタッフでスケジュールを周知し計画的に準備を進めてきたが、所々に不備が見られた。説明会資料等、文章表現を工夫したが、正確にこちらの求めるものが伝わらないことがあった。</li> <li>○ 松萌会役員や会員の積極的な参加により、各事業は円滑に運営された。</li> <li>○ 環境美化については概ね保全に努めることができたが、修繕についてはまだ対処を要する箇所が見受けられる。</li> <li>○ 火災・地震訓練ともに迅速な避難行動が見られた。なお、津波を想定した訓練は市のハザードマップを吟味した結果行わなかった。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職</li> <li>○ たえ好景気であっても、評価が「A」であっても大切なことは「生徒の能力・適性に応じた受験先の指導」で企業のネームバリューではない。生徒・保護者に理解を促したい。</li> <li>○ 就職するという心構えを再度伝えることに力を入れた。</li> <li>進学</li> <li>○ 専門学校や私立大学のAO・推薦入試においては結果は良好であるが、私立・国公立大学一般入試においては良い結果とは言えない状況である。</li> <li>○ 学力向上のために、授業の大切さを促していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒一人ひとりをよく理解し、能力・適性に応じた進路指導に努める。</li> <li>○ 早期離職防止に努める。</li> <li>○ 生徒それぞれの希望する進学先への合格を目指す。</li> <li>○ 進学に対する意識の向上や日々の学習に対する姿勢を確立させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「進路総合評価」「進路適性検査」を参考にし、担任又は就職・教育支援担当者、カウンセラー及び部活動顧問、家庭と関係機関との連携を密にし、個別面談を重ね、適切な進路指導に努める。</li> <li>○ 県内外の卒業生の就職先を訪問し、進路指導を行なう。また、旧担任及び部活動顧問と連携し、仕事の継続を促し、尚、在学中は内定者を対象にした校長講話・進路講話等を行ない、定着するように導く。</li> <li>○ 面談等によって生徒たちの学習意欲を促し、目標を明確にさせ、授業・講習・Classi・サプリなどで学習効果を高めていく。</li> <li>○ 各学年部と連携し、望ましい授業環境と進路講話等で促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まだ途中ではあるが、生徒の能力・適性に応じた受験先の指導に努めている。が、企業数が多いため企業の分析が滞っている。</li> <li>○ 残念ながら、今年も早期退職者が多かった。「忍耐力」の一言で片づけられない内容もあり、実状をリサーチする必要がある。適正に合わせたサポートを充実させたい。</li> <li>○ 3年生は各自の明確な目標に対して取り組みができてはいるが、1、2年生の意識がもう少しである。2学期以降は3年生の受験指導に加えて、講演会などを利用して1、2年生の進学への意識向上に重点を置きたい。また、各学年部を中心に授業への取り組み方について生徒たちに声掛けを実施し、授業での学力向上を目指したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ここ2・3年の就職の状況からは明らかに潮目は変わってきている。影響は様々なが教員・生徒に対し、今後十分に対策を立てて対応する。</li> <li>○ 永遠のテーマであるが、仕事があり過ぎるのも一つの要因であるとも聞いている。世界と取り巻く経済状況は変わりつつあるのでその時代・時代の問題を分析し対応する。</li> <li>○ 3年生への志望理由書・小論文・面接指導などは、十分に取組めた。また、1、2年生に対しては、例年通りに職業別・分野別ガイダンス・講話・見学会を行い、進路への意識を高めていく。特進・進学クラスに対しては、ICTのツールを使い、充実したさらなる勉強方法・対策を立て、もう一段高い教育システムを提供したい。</li> <li>○ 特進・進学クラスなどでは、模試に対する取り組みができてはいるが、他クラスではまだその意識が低く、意識向上に向けた取り組みや工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 潮目が変わってきている。来年度どう流れるは来年度になってみないと分からないが、最悪の場合を想定し、対策を立てて対応する。</li> <li>○ 就職するという心構えを再度伝えることに力を入れた。</li> <li>○ 学力向上のために、授業の大切さを促していき、定期考査・模試・検定などを学習目標として学習意欲を持続させたい。また、模試の結果を分析し、教員の教科内での指導方針など話し合い学力向上に努めたい。授業での学力向上が望めない場合は、講習などを利用して、指導していきたい。</li> </ul>

学年分掌	前年度末の状況	今年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>30年度より新入生合宿が廃止され学校でのオリエンテーションとなった。三瓶での2泊3日の張りつめた空気で行っていた内容をやり方は変わっても身につけさせ挨拶や学校の方針等をオリエンテーションで学ばせる。</li> <li>立ち番指導や日頃の指導を通し継続して生徒の安全に努める。</li> <li>校則など規則について保護者が理解できるよう、生徒手帳の内容を状況に応じて改善が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身につけさせる。</li> <li>生徒が安心して通うことができるよう指導に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入生オリエンテーションを通して学校生活に早く慣れさせる。</li> <li>挨拶の徹底を全校集会やルームなどで呼びかけるとともに、通学指導などで教員からも積極的に声をかけてもらうようにする。</li> <li>服装規定の遵守のため服装指導を徹底する。</li> <li>社会のルールやマナーを理解し守るよう指導する。</li> <li>登下校中に事故や被害に遭わないよう安全指導を徹底する。</li> <li>いじめを許さず、見逃さない。生徒の言動に変わった様子はないか注意する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的服装の乱れも少なかったように思う。しかしながら、小敷ではあるが、化粧、ネクタイの着用があった。各クラス、授業において温度差なく指導の継続を行う。また、公共機関・施設の利用についての指導や挨拶についても様々な場を利用し指導を行う。</li> <li>交通事故が何件か発生した。全校集会や各クラスにおいて継続して交通ルールなどについて引き続き指導をする。</li> <li>生徒の言動に変わった様子はないか注意する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般的には、落ち着いた学校生活を送っていたように感じるが、積極的に挨拶ができる生徒が少ないので継続的指導が必要。服装面においても、決められた靴、鞆、防寒具など違反する生徒も何名かおり、指導を要する。</li> <li>2、3学期も交通事故が発生した。ことあるごとに、注意喚起が必要。いじめに関しては、普段より担任を中心に生徒の状況を把握して、概ね適切に指導・対応ができていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね学校生活は落ち着いているが、挨拶をもっと積極的にできるように継続的な指導が必要。また、近年SNSの利用についての問題行動が増えてきておりインターネットの利用に関する教室も積極的に導入して行きたい。</li> <li>立ち番指導や日頃の指導を通し継続して生徒の安全に努める。</li> </ul>
人権教育推進部	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権学習、とくに人権ホームルームを、全体学習、クラス別学習を通じて実施した。鳥取県人権教育基本方針(第2次改訂)をふまえ、各学年、自他の権利を基礎にすえたグループ学習を推進できた。また、ネット・SNS問題にも意欲的に取り組んだ。アウティングなどの差別助長行為、プライバシー侵害などの情報モラル教育を人権教育として取り組んだ。</li> <li>言葉遣いアンケートを実施・集計後、調査・啓発に努めた。心ない言葉に傷つく生徒がいることを、自らに関わる問題としてとらえた。人権講演会は、講師の先生に渾身の力を振り絞ってご実施頂き、人権学習でも活かされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同和教育で培われてきた原則、鳥取県人権教育基本方針(第2次改訂)をふまえ、自他の権利を基礎にすえた人権学習を推進していく。</li> <li>西部地区人権・同和教育振興会議第3回研修会を、当番校としてスムーズな運営ができるよう創意工夫に努める。</li> <li>言葉遣いアンケートを実施し、自他の言動を振り返り、心ない言葉の防止をめざす。人権教育講演会を、人権課題に意欲的な方をお招きして実施し、人権ホームルームにも活かしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育ホームルームにおいて、毎時間、育てたい資質・能力を明らかにして取り組む。具体的に身につけさせたい知識・技能(スキル)・態度をふまえ、「人権のための教育」を推進する。</li> <li>鳥取県教育委員会事務局西部教育局担当者様と連携を密にし、公開授業・全体会・グループ協議の内容充実を努める。公開授業に向け、人権課題としてのネット問題に意欲的に取り組む。</li> <li>前年度実施の言葉遣いアンケートをふまえた啓発に努める。2学期に今年度もアンケートを実施し、とりまとめ啓発する。人権教育講演会に向け、講師との交渉を進める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>同和教育の原則、鳥取県人権教育基本方針(第2次改訂)を年度はじめに確認し、人権学習の推進を考えた。人権ホームルームでは、毎時間、身につけさせたい知識・技能・態度のさらなる明確化に努めた。</li> <li>公開授業・全体会・グループ協議の方法については、前年度に打ち合わせを終え、了解を得ている。内容充実に関しての協議・実施は、第2学期の課題である。</li> <li>言葉遣いアンケートの結果をふまえ、校内での反省・啓発に努めた。1、2年生は導入学習において、全体学習としてそれぞれ実施した。人権教育講演会の講師・内容も決まり、特に2年生人権学習を関連付け実施した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「差別の現実から深く学ぶ」資料の教材化に努め、「参加」「協力」「体験」を中核に置いた学習を各人権ホームルームで展開した。毎時間、身につけさせたい知識・技能・態度を明らかにして授業を進めた。目標は概ね達成できた。</li> <li>振興会議のうち、公開授業では2年部がインターネット・SNSと部落差別問題という新たなテーマに積極的にチャレンジし、成果をあげた。グループ協議でも、中高の先生方が共通テーマで連携し、意欲的な発言が相次いだ。目標は大いに達成できた。</li> <li>言葉遣いアンケートによる指導・啓発は目下、継続中である。結果をふまえ、心ない発言の防止に向け、全教職員が努力し続けている。人権教育講演会・教職員講演会ではおふたりの講師にネット差別問題をご講演頂き、人権ホームルームに活かされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他を思いやる気持ちは人権意識を高めるためにどれだけ有効なのか、権利を基礎に据えた学習との関係性は必ずしも明確ではない。両者との関係性を明らかにしたい。共感性を高める資料づくりに挑戦し続けたい。</li> <li>振興会議の具体的な内容は事前の打ち合わせ・連携と相違し、直前に変化した。先生方の不安・負担につながった。公開授業の取組みは、公開後の討議内容も含め、事前にもっと明確しておくべきである。</li> <li>生徒対象の人権教育講演会は、事前、もしくは事後学習が生徒に必要である。</li> </ul>
教育相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の支援計画の作成について、全教員に作成についての共通理解ができるようにしておく必要がある。</li> <li>支援が必要な生徒の多様化、増加に対し、支援体制のあり方をさらに検討していきたい。</li> <li>研修では情報交換もできるので、多くの教員に参加を呼び掛けていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の支援計画の推進</li> <li>入学時からの連携作り</li> <li>学校全体として支援理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や他機関と連携し、早期に作成に取りかかるようにする。</li> <li>教員間で情報交換を行い、支援の早期発見に努める。</li> <li>担任だけでなく抱え込まずに、学年、教科担当、部活動顧問、外部機関等と連携を図って支援を進めていく。</li> <li>担任、養護教諭、外部機関(医療・福祉等)を交えた連携会議を定例化していく。</li> <li>研修会・講演会等の参加を積極的に促す。</li> <li>SC・SW・サポステ連携を通じて学校全体としての支援理解・学びを深めていく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識づけはなされてきているが、まだ未完了の部分もあるので、できるだけ早く取り組みたい。</li> <li>学習や部活動の悩みを持つ生徒がでてきているので、教科担当・部活動顧問との相談の機会をもっと設けたい。</li> <li>各学年の教育相談・支援担当の情報交換を積極的に行いたい。医療や他の教育機関との連携も少しずつ進んできている。</li> <li>月に1回のペースで校内連携会議を行うことができた。</li> <li>クラッシーで研修会の案内を行った。多くの先生方の参加を求めたい。</li> <li>SC、SSWとの連携は定着してきたが、連携の重要性の理解をさらに深めていきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の支援計画作成への協力・推進が図られた。活用をはかっていきたい。</li> <li>担任・学年主任・養護教諭・部活動の顧問を中心としたクラス支援、生徒支援の連携ができた。</li> <li>支援、ニーズの多様化に対し、校内・校外問わず情報交換の場をより多く持つ必要がある。</li> <li>校内連携会議を行い、校外の関係機関とも連携をはかることができた。</li> <li>教育支援担当者以外の教員にも、研修の案内を行うことができた。</li> <li>校内職員研修を行うことができた。</li> <li>連携の重要性の理解をさらに深めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の支援計画の作成と活用について、共通理解ができるようにしておく必要がある。</li> <li>支援が必要な生徒の多様化、増加に対し、支援体制のあり方をさらに検討する。</li> <li>校外の連携機関とのつながりをもっとつくってほしい。</li> <li>研修では情報交換もできるので、多くの教員に参加を呼び掛けていく。</li> </ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクールの参加者を増やすことができた。志願者数・入学者数を確保することができた。</li> <li>Webをリニューアルし、円滑な更新・運営をすることができた。各種SNSの立ち上げ、公式キャラクター等、新たな試みに挑戦することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクール、学校見学説明会・入試説明会の充実と参加者の確保</li> <li>開かれた学校づくりの推進と学校ブランディング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生・保護者・中学校への的確な情報発信</li> <li>オープンスクール等の実施内容の精査、円滑な運営</li> <li>広報活動の充実</li> <li>Webの更新・管理運営</li> <li>SNS等による情報発信</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信については、概ね迅速かつ的確に行うことができたが、チラシの作成・配布時期を再検討する必要がある。</li> <li>オープンスクールの参加者を大幅に増やすことができた。運営に若干の修正点が見つかったため、次回以降に修正する。</li> <li>Webページ、SNSと共に稼働状況は良好である。閲覧数も確保できている。学校PR動画を新たに作成するなど、学校プレゼンテーションを刷新することができた。今後も新たな広報活動に積極的に取り組んでいく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度比(参加中学生延べ人数)、オープンスクール:31名増、学校見学説明会(計4回):4名増、入試説明会(計4回):63名増(2回目オープンスクールの中止の影響も考慮)となり、いずれも参加者数を確保・増加することができた。実施内容を検討しなおし、チラシ・HPを中心に的確に情報発信することができた。</li> <li>通年、Webページ・SNSによる情報発信を迅速に行うことができ、閲覧数・登録者数を確保することができた。それにより、開かれた学校づくりの一端を担うことができた。また、学校PR動画やプレゼンテーションの刷新により、学校ブランディングのきっかけを作ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学志願者増加につなげるための、より効果的なオープンスクール・説明会実施内容・運営方法の検討</li> <li>参加者数確保に対する意識の高揚</li> <li>公式キャラクターの有効活用</li> <li>広報活動の充実と提案</li> </ul>

学年分掌	前年度末の状況	今年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など	
生徒会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校祭については時期に合わせた内容の見直しを考えていきたい。また、余裕を持って準備できるように早めに取り組む必要がある。</li> <li>○ 生徒総会で審議や報告できるように、早めの実施が必要である。</li> <li>○ 学校の中心として活動できるように、積極的に関わっていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校行事の充実</li> <li>○ 生徒会活動の充実</li> <li>○ 他分掌との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 7月のスポーツ祭および10月の学校祭が充実したものになるように、計画・実施をする。</li> <li>○ 各クラスの中央委員との連携を図る。</li> <li>○ 学校生活をより充実したものにするために、定期的に集まり議論する。</li> <li>○ 放課後の清掃点検を行う。</li> <li>○ ボランティア活動の呼びかけをし、生徒の参加を促す。</li> <li>○ 他分掌と、お互いの要請等により活動を計画・実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>B</li> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツ祭は生徒会を中心に中央委員や各部活動の協力のもと、滞りなく実施することができた。学校祭については、実施に向けて現在準備している最中である。</li> <li>○ 新聞作成など、新たな活動にも挑戦中である。</li> <li>○ 清掃点検は明確になっていない点もあるので、引き続き点検方法を検討していく。</li> <li>○ ボランティア活動については適宜案内し、多くの生徒が参加している。</li> <li>○ 多くの部署と連携をさせて頂いた。学校を盛り上げていけるように、積極的に関わっていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>A</li> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各行事において執行部が中心となり、滞りなく実施できた。今後も新たな試みや見直しを図りながら、よりよい学校行事としていきたい。</li> <li>○ 新たな試みであった新聞作成も全生徒へ配布し、SNSも使い多くの人に見て頂くことができた。清掃点検は定着には至らないところもあったが、見回って気になる箇所の清掃等を行った。ボランティアについては、今年度も多くの生徒が参加している。</li> <li>○ 今年度も多くの部署と連携させて頂いた。生徒会が中心となり学校を盛り上げていけるように、今後も継続して連携を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 余裕をもって準備に臨めるよう、引き続き早目に取り組んでいく必要がある。</li> <li>○ 定期的に集まり、現状の確認や審議を行う環境が必要である。</li> <li>○ 今後も継続して他分掌と連携を取り、新たな試みにも挑戦していきたい。</li> </ul>	
	学年分掌	前年度末の状況	今年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
	一年部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣の確立</li> <li>○ 学習習慣の確立</li> <li>○ 家庭との連携</li> <li>○ 人権意識を育む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣の確立</li> <li>○ 学習習慣の確立</li> <li>○ 家庭との連携</li> <li>○ 人権意識を育む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挨拶と正しい服装を定着させる</li> <li>○ 生活リズムを整えさせることにより、欠席や遅刻をしないように指導する。</li> <li>○ 日頃より各教科担当と連携を密に取り、家庭学習に取り組みやすいように指導をする。</li> <li>○ 配布物や連絡事項をClassiの校内グループにも掲載し、保護者が必ず受け取ることが出来るようにする。</li> <li>○ 状況に応じて保護者へ連絡をとり、情報交換を行う。</li> <li>○ 学級活動や学校行事を通じてお互いを思いやる心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>C</li> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き粘り強く指導をしていきたい。</li> <li>○ 全体的にみると遅刻や欠席は多くない。今後も個別に指導を行う必要がある。</li> <li>○ ICT機器の活用等、課題の出題方法の研究を関係部署と連携し改善を図りたい。</li> <li>○ Classiや各種SNSでの情報提供も随分定着してきたので今後も継続したい。</li> <li>○ 今後もきめ細やかに指導できるように保護者との連携を密に取りたい。</li> <li>○ 互いを思いやる気持ちが充分でないように感じる。様々な場面で担任、副担任を中心に話をしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ この1年間で概ね基本的な生活習慣は身に付いたと思われる。</li> <li>○ 年度当初よりも授業態度が悪い生徒は少しずつ減少したが、主体的に学習に取り組むことができるレベルには至っていない。</li> <li>○ 日頃からClassiやSNSでの情報を受け取る環境がある保護者に対しては効果があると考えられる。</li> <li>○ 担任・副担任を中心にきめ細かく生徒・保護者の相談に乗れたように思う。</li> <li>○ 各クラスともクラスメイトと互いに支えあいながら生活を送る様子も見られるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上級生としての自覚を持たせたい。</li> <li>○ 次年度は朝読書を利用して遅刻の減少に努めたい。</li> <li>○ 引き続き、関連部署と連携を取りながら、主体的な学習者の育成に努めたい。</li> <li>○ 保護者懇談会等でClassiの利用状況を確認すべきだった。来年度以降さらにペーパーレス化が進むので一層確認が必要となる。</li> <li>○ さらに相談しやすい環境を整えるように努力したい。</li> <li>○ 自他ともに尊重できる人間育成を目指し、学級活動や学校行事を進めていきたい。</li> </ul>
学年分掌	前年度末の状況	今年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など	
二年部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自ら挨拶出来るよう継続して指導し、服装の乱れが出ればその都度指導していきたい。</li> <li>○ 連続した欠席や遅刻がある場合は早めに家庭と連携をとる。</li> <li>○ 日頃の家庭学習の大切さを指導していきたい。</li> <li>○ 生徒や様々な機会を通じて継続して呼びかけていく。</li> <li>○ 次年度も保護者に渡るように呼びかけを継続していく。</li> <li>○ 次年度もこまめに連携がとれるように努力する。</li> <li>○ お互いを認め合い成長できるように指導していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣の定着</li> <li>○ 学習習慣の確立と進路意識の高揚</li> <li>○ 家庭との連携</li> <li>○ 人権意識を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝の時間に見回り、あいさつや服装を徹底させる</li> <li>○ 充実した生活が送れるように時間を守り、遅刻・欠席がないよう指導する</li> <li>○ 聴く姿勢を高め、日頃の授業から集中して取り組むように指導する</li> <li>○ 進路学習などを通じ職業観と進路意識の高揚を促す。</li> <li>○ 保護者との連携を深め、学校での状況や家庭での様子について共通理解を図る。</li> <li>○ 学校行事やクラスでの活動を通して他者への理解を深め、人を思いやる心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 反応の薄い状況も見受けられるので、朝礼前で見回りを継続して行い、根気強く声かけや指導を続けていく。また、遅刻・欠席が続かないように、早めの声かけや家庭との連携を行う。</li> <li>○ 日頃の授業や提出物、考査や模試などで具体的な目標をもって取り組むように継続して声かけを行う。</li> <li>○ 気になることについて担任がこまめに家庭連絡をし、共通理解と連携を図ることができている。</li> <li>○ 学校行事やクラスでの活動を通して交流が増え、落ち着きが出てきた。お互いに認め合い、成長できるように継続して声かけや指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各クラスでの指導や朝の見回りを通し、少しずつではあるが率先して挨拶したり、服装についても意識できる生徒が増えてきている。また遅刻・欠席についても意識できるようになってきた。</li> <li>○ 日々の授業に集中して取り組む生徒も増えてきている。自らの進路に向けて主体的に取り組む生徒もいるが、目標が定まらず受け身の生徒もみられる。</li> <li>○ 家庭との連絡をこまめにとり、保護者との連携はスムーズに行われている。</li> <li>○ 行き違いやトラブルなどもあるが、全体としては落ち着いてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最上級生として下級生の模範となる自覚を持たせる。そのためには挨拶や服装、遅刻、欠席、時間遵守などについて根気強く声掛けや指導を行う。</li> <li>○ 進路に向けた意識を高めるために引き続き声掛けをし、目標設定を行っていく。また日々の積み重ねが大切となるので、家庭学習の定着を図る。</li> <li>○ 次年度も家庭とこまめに連携がとれるよう努める。</li> <li>○ 学校行事やクラスの活動を通して、お互いを認め合い成長できる人間関係の構築に努めるよう声掛けを行う。</li> </ul>	
学年分掌	前年度末の状況	今年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など	
三年部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最上級生として下級生の範となるという自覚を持たせ、3つの目標のさらなる定着を目指す。</li> <li>○ 各自が目標とする進路に進むためにも主体的に学習に取り組むことが大切であることを呼びかけ、生徒の意識を高める指導を行う。</li> <li>○ HRや学校行事を通し、仲間づくりや良好な人間関係構築に努めるよう声掛けを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣の定着</li> <li>○ 主体的に学習に取り組む姿勢の確立</li> <li>○ 家庭との連携</li> <li>○ 人権意識の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「挨拶・返事」、「時間を守る」、「正しい服装」の定着と実践を図る。</li> <li>○ 自主自律に努め、最上級生としての自覚と責任を持って高校生活を送るよう指導する。</li> <li>○ 進路決定に向け、授業や家庭学習に目的を持って取り組める環境を整える。</li> <li>○ 保護者との連携を深め、学校での状況や家庭での様子について共通理解を図る。</li> <li>○ 学校行事や学級活動を通して、周囲を思いやり尊重する心と、目標の達成に向け互いに協力する姿勢を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 元気な挨拶、正しい服装ができていない生徒も多いため、一部ではあるが声かけに対して反応の薄い生徒も見受けられる。根気強く指導を継続していきたい。</li> <li>○ 個人差はあるものの、生活面や行動面で、最上級生としての自覚が芽生えてきている。折に触れて声かけを行うことで定着を図りたい。</li> <li>○ 企業や学校の研究を進め、各自が必要な学習に取り組もうとする姿が見られた。進路決定に向け、より具体的な目標設定を促し、主体的な学習の充実に繋げたい。</li> <li>○ 遅刻、欠席が多い生徒や生活上気になる点がある生徒など、担任がこまめに保護者と連絡を取り、協力・連携しながら指導を行った。継続して取り組んでいきたい。</li> <li>○ 多くの生徒が相手の気持ちや周囲の状況を考慮しながら行動できるようになっている。進路決定や学校行事など、お互いが協力し合い、励まし合いながら取り組んでいけるよう、声かけを行いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挨拶や時間厳守については多くの生徒が主体的に行動できており、三年間継続して声掛けを行ってきた成果が感じられる。服装については、徹底できない面もあり、若干の課題を残す形となった。</li> <li>○ 卒業後の進路を見据え、最上級生として節度ある行動をとうとうと心がける様子が見られた。</li> <li>○ それぞれが明確な目標を持ち、進路決定に向けて努力を重ねる姿が顕著であった。</li> <li>○ 生活指導及び進路指導において、常に家庭との連絡・連携を図りながら進めることができた。</li> <li>○ 学校行事や学級活動において、最上級生としての役割を果たそうと頑張る様子が見られた。その取り組みを通し、お互いが理解し合い、協力し合う良好な人間関係を築くことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、上級生としての自覚を促すとともに、進路決定に向けてのサポートを行う。</li> <li>○ 進路決定に向けて、進路決定に向けてのサポートを行う。</li> <li>○ 引き続き、家庭と連携をとり、保護者との連携をスムーズに行っていく。</li> <li>○ 引き続き、人間関係の構築に努めるよう指導を行う。</li> </ul>	